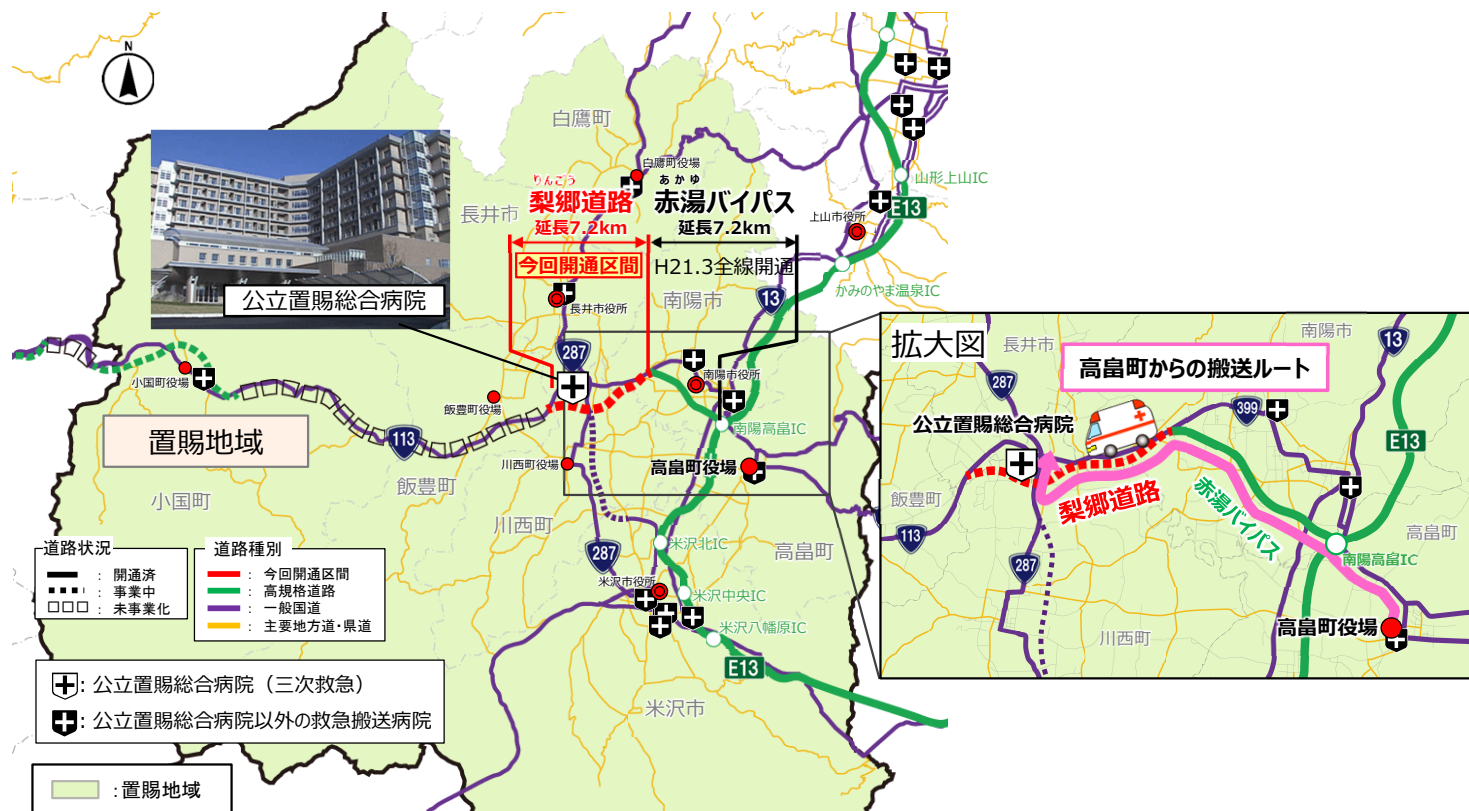
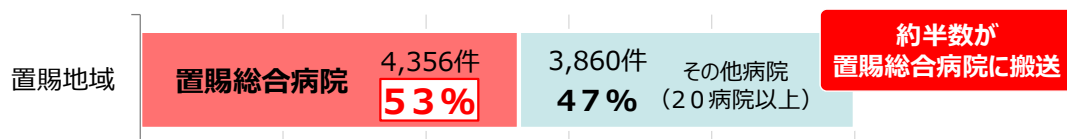


国道113号 梨郷道路【地域の救急医療活動を支援】

- ◆置賜地域では、地域唯一の第3次救急医療機関(公立置賜総合病院)への救急搬送割合が約5割。
- ◆高畠町から置賜総合病院への搬送ルートとなる国道113号は冬期の旅行速度低下が著しい。
(冬期速度低下率 約50%)
- ◆梨郷道路の整備により、高次医療施設へのアクセス向上による迅速な地域の救急医療活動を支援。



▼置賜地域の救急搬送先割合 (R4.1~R4.12)

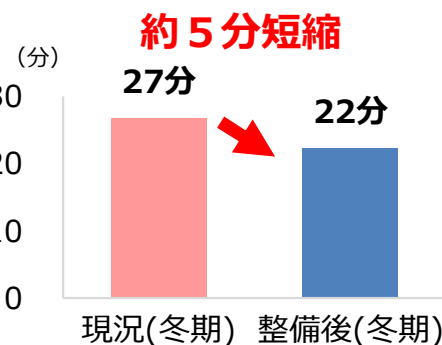


出典：R4救急・救助統計 (置賜広域行政事務組合消防本部、西置賜行政組合消防本部)

▼梨郷道路の並行現道「国道113号」の旅行速度の状況



▼所要時間の変化 (高畠町役場-置賜総合病院)



出典：ETC2.0 (R3.12-R4.3)
(降雪量20cm/日以上)
※梨郷道路は、70km/hで算出

管内消防本部の声



- 当本部は管轄エリアが広く、1分1秒をあらそう救命救急の現場において、搬送時間の短縮は、早期収容が可能となり、脳疾患や心筋梗塞の場合、特に救命率の向上・後遺症の軽減が期待されます。
- 特に、置賜地域は降雪量が多く、**冬期の搬送環境として搬送時間の遅れや揺れ等が課題**となりますが、梨郷道路利用により、**冬期時間短縮に加え、季節を問わず安定した搬送が可能**となり、救急患者の負担軽減が期待されます。

出典：ヒアリング結果 (R6.1)